

### 3 南海トラフ地震が起きたらどうする？

地震発生 湖南市内の想定最大震度6強 →まずは命を守る行動を!!

#### 建物の中にいるとき



頭を守り、頑丈なところに隠れましょう。揺れが収まるまで無理に動かないようにしましょう。

#### 屋外にいるとき



倒れる可能性がある場所(ブロック塀・電柱・自動販売機など)から離れましょう。

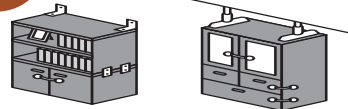
#### 海や川の近くにいるとき



津波に備えて、海岸や河口から離れて、高く頑丈な建物の上や高台など、安全な場所に避難しましょう。

### 4 地震の発生に備えよう 今すぐできる防災

#### 家具の固定



●L字型金具などで壁の下地にしっかり固定し、重い物は下に収納しましょう。また扉が開かないように家具を固定しましょう。転倒した家具は、人に怪我をさせるだけでなく、ドア・扉や通路を塞ぎ、避難を妨げます。寝室やよくいる場所、避難経路に置いた家具ほど危険です。

▶食料品:日常で使うものを多めに購入し、使ったら買い足すローリングストック法を取り入れましょう。

▶トイレ:携帯トイレを準備しましょう。家が無事でも水が使えないことがあります。洋式トイレは、45ℓのポリ袋とトイレ用凝固剤があれば断水中でも簡易トイレとして利用できます。  
●1日あたりの平均的なトイレの回数は「5回」といわれています。「家族の人数×1日のトイレの回数(平均5回)×日数」の計算式で最低3日分、できれば7日分の携帯トイレを準備しましょう。  
例) 4人家族の場合 人数(4人)×トイレの回数(5回)×日数(最低3日分)=60回分

#### 避難場所や避難経路の確認

地震発生直後は、道路の寸断や落下物、火災、土砂災害などでいつもの道路が通れなくなる場合もあります。ハザードマップと避難所を事前に確認し、避難場所、経路を検討しておくほか、家族で集合場所と安否確認の方法(災害用伝言ダイヤル171など)も決めておきましょう。



湖南市防災マップ 検索

問危機管理・防災課(東庁舎) TEL0748-71-2311 FAX0748-72-2000

# 南海トラフ地震に 備えよう!!



## 1 西日本の広範囲で発生する南海トラフ地震

最大震度  
7

#### ▶最大震度7の大きな地震

最大震度7クラスの激しい揺れにより、建物の倒壊や火災に加え、津波などの複合的な災害が発生するおそれがあります。また時間差で巨大な地震が相次いで発生する可能性もあります。



#### ▶過去には繰り返し発生

100年～150年間隔で実際に繰り返し発生しています。



#### ▶30年以内の発生確率60%～90%程度以上

令和7年9月、南海トラフ地震の発生確率が見直され、今後30年以内の発生確率は「60%～90%程度以上」とされました。

60%～90%  
程度以上



#### ▶前回の南海トラフ地震の発生から約80年

昭和東南海地震(1944年)・昭和南海地震(1946年)から約80年が経過し、次の南海トラフ地震への備えがますます重要になっています。

## 2 湖南市で想定される地震被害は？

南海トラフ地震が発生した場合の湖南市における被害想定

| 想定最大震度 | 全壊    | 半壊      | 死者   | 避難者     |
|--------|-------|---------|------|---------|
| 6 強    | 254 棟 | 2,151 棟 | 10 人 | 3,940 人 |

日頃の備えで被害を減らすことができます。